

普及活動情勢報告（令和5年12月分）

高吾農業改良普及所

集落営農組織の経営安定に向けて ～農事組合法人トピアとかの全体会～



全体会の様子

12月1日、農事組合法人トピアとかのが集落活動センターあおぞらで全体会を開催し、生産者8名が参加しました。
会の中では、次年度の飼料米の収量増加に向けて、普及所が品種特性等の情報提供を行い、愛媛県大洲市で栽培状況を視察した多収性品種「北陸193号」の栽培に取り組むことが報告されました。生産者からは「組織の経営安定に向け、次年度は飼料米の収量増加を目指したい。」といった声が聞かれました。
普及所は、今後もトピアとかのの組織活動の強化のための活動を、毎月の役員会などを通して支援していきます。

イチゴの出荷が始まりました！ ～JA佐川支所苺部会目慣らし会～



目慣らし会の様子

12月12日、JA佐川支所苺部会が目慣らし会を開催し、生産者19名が参加しました。目慣らし会では、部員3名のハウスを巡回し、収穫期の生育状況を自身のハウスと見比べ、意見を交わしていました。
普及所からは、今年の生育概況と発生が多かった芽なし株への対策について情報提供しました。生産者からは「これからが出荷の本番。しっかり対策をして収量を確保していきたい。」といった声が聞かれました。
普及所は、イチゴの生産安定に向け、今後も巡回等による栽培支援を行っていきます。

組織の計画的な活動に向けて ～沖名営農組合 組織ビジョンの更新～



組織ビジョンの更新に向けた
水稻作業受託の県外視察の様子

12月19日、日高村産業郷土資料館で、組織員6名と組織ビジョンの更新に向けた話し合いを行いました。
話し合いの中で、今年度の反省や次年度の取り組みについて意見が交わされ、今後の活動方向を組合員で確認しました。
次年度の活動として、ドローンの導入が挙がり、普及所からは、ドローンの購入に向けた資金繰り表の作成について支援していくこととなりました。組合員からは、「年々、栽培面積が増加している。ドローンも活用しながら、組織活動を継続していきたい。」といった声が聞かれました。
普及所は、今後も沖名営農組合の組織活動の強化のための活動を、毎月の定例会などを通じて支援していきます。